

あなたに薦める『この一冊』9月

『ミッドナイト・ライブラリー』マット・ヘイグ(著) 英語教諭 萩村 佑里夏
 ハーパーコリンズ・ジャパン 高校1年3組 副担任



みなさんは、物事が自分の思うように進まず、行き詰まりを感じた時、ふと「もしあの日、あの時、違う選択をしていたら…」と考えたことはありませんか？

人生が八方ふさがりに感じた主人公ノーラは、死と生の狭間にある『真夜中の図書館』にたどり着きます。そこには、彼女が選ばなくて後悔していた人生や、もし選択していたら存在したかもしれない人生など、無数の『彼女の別の人生』の本が書架に並んでいます。本を開くたびに、彼女はあったかもしれない人生を経験するのですが、そこには彼女が想像する『完璧な人生』はあるのでしょうか。

この本は、ノーラの体験を通して、どんな後悔や失敗があったとしても、未来は不確定であり無限の「可能性」があることを思い出させてくれます。また、「今」真剣に物事に向き合えば可能性が広がることに気づき、挑戦する勇気も与えてくれます。読んだ後には、視野が広がり、日常の見え方に新しいスパイスを感じられる一冊です。ぜひ読んでみてください。

大事なのはあなたが何を見ているかではない。何が見えているのかだ。

"It's not what you look at that matters. It's what you see."

Henry David Thoreau

『マット・ヘイグ』豆知識

1975年イギリスのシェフィールド生まれ。大学卒業後、マーケティング会社を経営するなどさまざまな職を経たのちに作家業に専念。フィクション、ノンフィクションを問わず多岐にわたるジャンルの作品を執筆し、その多くがベストセラーとなっている。
 “Shadow Forest”でネスレ子どもの本賞金賞を受賞し、また3作品がカーネギー賞候補作に挙げられている。『ミッドナイト・ライブラリー』は世界43カ国で刊行され全英1位を獲得、各国でロングセラーに。2020年Goodreads Choice Awardフィクション部門を受賞した。
 出典：『ミッドナイト・ライブラリー』著者紹介

★萩村 佑里夏(ハギムラ ユリカ) 先生の紹介★

- *担当科目・クラス
論理・表現Ⅰ(高1年2・3組)
論理・表現Ⅲ(高3年10~14組)
- *星座 → しし座
- *趣味 → ドキュメンタリー映像を見ること。
- *自分の中学・高校生活
中学は、ほぼ全員顔見知りのような環境で、のびのび過ごしました。
高校は、商業科で検定勉強と部活動の日々を過ごしていました。
- *本校生の印象 → 気さく

※秋の夜長に読みたい物語たち※

・ 星の教室 高田郁(著) 角川春樹事務所



主人公の潤間さやかは、中学の卒業証書を受け取っていない。義務教育さえまともに終えていないという枷が、社会でも家庭内でも、さやかを生き辛くさせていた。しかし、ある日、さやかは夜間中学という存在を知る。20歳の春、さやかは河堀夜間中学への入学を果たす。仲間たちに支えられて過ごす日々が、学校や親への不信で雁字搦めだったさやかの心を解きほぐしていく。やがて、さやかには密かに叶えたい、という夢が芽生え始めるのだが……。

・ 図書館のお夜食 原田ひ香(著) ポプラ社

東北地方の書店に勤めるものの、うまくいかず、仕事を辞めようかと思っていた樋口乙葉は、SNSで知った「夜の図書館」で働くことになる。そこは普通の図書館と異なり、亡くなった作家の蔵書が集められた、“本の博物館”のような図書館だった。開館時間は夜7時から12時まで、まかないとして“実在の本に登場する料理”が出てくる「夜の図書館」で、本好きの同僚に囲まれながら働き始める乙葉だったが――。

こちらも
図書館&夜が
舞台です



真夜中のパン屋さん 大沼紀子(著) ポプラ社



都会の片隅に真夜中にだけ開く不思議なパン屋さんがあった。オーナーの暮林、パン職人の弘基、居候女子高生の希実は、可愛いお客様による焼きたてパン万引事件に端を発した、失踪騒動へと巻き込まれていく……。ほろ苦さと甘酸っぱさに心が満ちる物語。

・ 夜廻 保坂歩(著) PHP研究所

日本一ソフトウェアの大人気夜道探索アクションゲーム『夜廻』公式ノベライズ、待望の文庫化！夜の町に消えた愛犬と姉を探すため、幼い少女はひとり闇を彷徨う。



編集後記：9月12日は「宇宙の日」、そして来月の10月6日は「中秋の名月」です。だんだんと暗い時間が長くなっていくこの季節、本の中でも、実際の世界でも、夜特有の空気や眺めを楽しみたいですね。図書館では宇宙に関する本も揃えて、皆さんをお待ちしています！